

# ワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) のバックアップ イメージを使用する方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[WLC のプライマリおよびバックアップ イメージ](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、ワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) のバックアップ イメージの使用方法について説明します。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- WLC と Lightweight アクセス ポイント ( LAP ) の基本動作のための設定方法に関する知識
- Lightweight アクセス ポイント プロトコル ( LWAPP ) に関する基礎知識

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- AireOS を実行する Cisco WLC
- ことワイヤレスアクセスポイント ( CAPWAP ) または LWAPP の使用 コントロールおよびプロビジョニング重なり合います

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## WLC のプライマリおよびバックアップ イメージ

WLC では、デフォルトで 2 つのイメージが維持されています。プライマリ イメージとバックアップ イメージがこの 2 つのイメージです。プライマリ イメージは WLC で使用されるアクティブなイメージで、バックアップ イメージはアクティブなイメージに対するバックアップとして使用されます。

コントローラのブートローダ (ppcboot) には、アクティブなプライマリ イメージとバックアップ イメージのコピーが保存されています。プライマリ イメージが破損した場合は、バックアップ イメージを使用してブートローダを起動させることができます。

アクティブなイメージは、2 つの方法で変更できます。

WLC に有効なバックアップのイメージがある場合は、コントローラをリブートします。WLC のブート プロセス中に、**Esc** キーを押して追加オプションを表示します。

次に出力の例を示します。

```
Initializing memory. Please wait. 256 MB SDRAM detected
BIOS Version: SM 02.00
BIOS Build date: 09/17/02
System Now Booting ...

Booting from disk..., please wait.

Cisco Bootloader Loading stage2...

Cisco Bootloader (Version 3.2.116.21)

      .o88b. d888888b .d8888. .o88b. .d88b.
d8P Y8 `88' 88' YP d8P Y8 .8P Y8.
8P      88 `8bo. 8P      88 88
8b      88 `Y8b. 8b      88 88
Y8b d8 .88. db 8D Y8b d8 `8b d8'
`Y88P' Y888888P `8888Y' `Y88P' `Y88P'
```

```
Booting Primary Image...
Press <ESC> now for additional boot options...
```

### Boot Options

Please choose an option from below:

1. Run primary image (Version 3.2.116.21) (active)
2. Run backup image (Version 3.2.116.21)
3. Manually upgrade primary image
- 4. Change active boot image**
5. Clear Configuration

[Option 4: Change Active Boot Image] をブート メニューから選択して、バックアップ イメージをアクティブ ブート イメージとして設定します。これで、コントローラがリセットされると、新しいアクティブなイメージでブートされます。

また、**config boot <primary/backup>** コマンドを使用して、WLC のアクティブ ブート イメージを手動で変更することもできます。

## 構文の説明

<b>config boot</b>	Configure boot option.
<b>{primary   backup}</b>	Set the primary image or backup image as active.

各 Cisco WLC は、プライマリの、最後にロードされた OS のイメージからブートするか、バックアップの、以前にロードされた OS のイメージからブートすることができます。Cisco WLC のブート オプションを変更するには、**config boot** コマンドを実行します。デフォルトでは、コントローラのプライマリ イメージが、アクティブなイメージとして選択されます。

## 例

```
> config boot primary  
> config boot backup
```

WLC GUI を使用してブート順を設定するには、次の手順を実行します。

1. WLC GUI で、[Commands] ページに移動します。
2. 左側の [Commands] で [Config Boot] をクリックします。[Config Boot Image] ページが表示されます。



The screenshot shows the Cisco WLC GUI interface. The top navigation bar includes 'MONITOR', 'WLANs', 'CONTROLLER', 'WIRELESS', 'SECURITY', 'MANAGEMENT', and 'COMMANDS'. The 'COMMANDS' section is active, showing a list of commands on the left: 'Download File', 'Upload File', 'Reboot', 'Config Boot', 'Scheduled Reboot', 'Reset to Factory Default', 'Set Time', and 'Login Banner'. The 'Config Boot Image' page is displayed, showing the following information:

General	
Primary Image	Code 7.0.116.0 (default) (active)
Backup Image	Code 5.1.163.0

Below this, there is a section for 'Config Boot Image' with a dropdown menu for 'Image' currently set to 'Primary'.

このページには、コントローラで現在使用できるプライマリおよびバックアップ イメージと、アクティブなイメージが表示されます。

3. アクティブなイメージを変更するには、目的のイメージをイメージのドロップダウン メニューで選択し、[Apply] をクリックします。



この例では、[Backup] が選択されています。

4. 設定を保存してリブートします。

WLC がリブートされ、再び稼働するときは、バックアップ イメージでブートされます。

新しいイメージで WLC をアップグレードすると、WLC は自動的に、新しいイメージをプライマリ イメージとして書き込み、既存のプライマリ イメージでバックアップ イメージが上書きされます。

注: 既存のバックアップ イメージは消去されます。

コントローラで現在稼働しているアクティブなイメージを確認するには、WLC GUI で [Monitor] をクリックし、コントローラ GUI の [Controller Summary] にある [Software Version] フィールドを調べます。CLI では、**show boot** コマンドを実行すると、WLC にあるプライマリおよびバックアップ イメージを確認できます。次に例を示します。

```
(Cisco Controller) >show boot
Primary Boot Image..... 4.0.179.8
Backup Boot Image..... 4.0.206.0 (active)
```

WLC でイメージの削除や上書きを行うには、保存しておくイメージで WLC をブートアップして、アップグレードを実行します。この方法では、新しいイメージによりプライマリ イメージが置き換えられます。

## 関連情報

- [ワイヤレス LAN コントローラ モジュール \( WLCM \) とワイヤレス サービス モジュール \( WISM \) 用のパスワード回復手順](#)
- [Cisco ワイヤレス LAN コントローラ コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.2](#)
- [Wireless LAN Controller と Lightweight アクセス ポイントの基本設定例](#)
- [ワイヤレスに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)